

かごしま木造住宅コンテスト

2021

目次

02	「かごしま木造住宅コンテスト 2021」事例集の発行にあたって	
03	審査講評	
04	知事賞	蒲生の家（始良市）
08	会長賞	宮島の家（始良市）
11	入選・特別賞（大工技能賞）	屋久島地杉に包まれた家（湧水町）
13	入選	方形屋根の家（始良市）
15	入選	カーボンニュートラル（ZEH）美山の家（日置市）
17	入選	終の棲家でシンプルに生きる家（鹿児島市）
19	入選	植木畑をながめる高床の家（出水市）

募集要領

審査委員会	委員長	古川 恵子	（鹿児島女子短期大学名誉教授）
	副委員長	鷹野 敦	（鹿児島大学大学院理工学研究科工学専攻建築学プログラム准教授）
	委員	外村 選	（一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会副会長）
	委員	堂込 清文	（一般社団法人 鹿児島県林材協会連合会専務理事）
	委員	本房 美保	（公益社団法人 鹿児島県建築士会女性部会長）
	委員	福永 貴幸	（鹿児島県土木部建築技監）
	委員	西園 幸弘	（鹿児島県木造住宅推進協議会会長）

募集対象（全てに該当すること）

- 1.鹿児島県内にある住宅で、県内の住宅事業者が施工した軸組工法による木造住宅（混構造、併用住宅も可。）
- 2.木材の使用量が、次の①または②のいずれかを満たす住宅
 - ①かごしま木の家（ア）及び（イ）の両方を満たす住宅
 - （ア）かごしま材の使用量が10㎡以上
 - （イ）かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上
 - ②認証かごしま材の家（ア）～（工）のいずれか1つ以上を満たす住宅
 - （ア）柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上
 - （イ）柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上
 - （ウ）造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上
 - （エ）上記（ア）（イ）のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と（ウ）における同材の実使用比の数値の合計が1以上
- 3.過去3年間（平成29年9月～令和3年8月）に完成・引き渡しされた新築住宅
- 4.過去の「かごしま木造住宅コンテスト」に未応募のもの

募集資格 施主・設計者・施工者・大工（棟梁）の4者連名で応募。（連絡窓口の方を1名選定）

募集方法 以下の書類をそろえて募集先へ持参もしくは郵送

- 1.応募用紙（建物概要等を記入）
- 2.施主の要望と反映の方法、コンセプト
- 3.設計・施工のポイント、住宅のアピール等
- 4.図面：配置図、平面図（兼ねても可）
- 5.写真（外観4枚以下・内観8枚以下）
- 6.その他（アピールに必要な図面等）

募集締切 令和3年8月31日

主催 鹿児島県木造住宅推進協議会

後援 鹿児島県

「かごしま木造住宅コンテスト 2021」事例集の発行にあたって

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島県の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の振興を図るため、また県民の皆様にも木造住宅の良さを広く知っていただくことを目的に2001年から2年ごとに実施しており、今回で第11回目となりました。

かごしま材を使って建てられた住宅は、森林環境の保全や地球温暖化の防止、地域産業の振興においても波及効果が大きく、国際社会全体で取り組む共通目標であるSDGsの目標達成にも貢献します。

当協議会においては、県が提唱する「地材地建（地域で生産された木材・建材を使って、地域の大工・工務店等が住宅等を建設すること）」を促進しており、本コンテストは「かごしま材または認証かごしま材を一定量以上使用していること」を応募条件としています。

この作品集に掲載されている入賞作品は、鹿児島県で育った木の特性を活かし、住まい手のこだわりやニーズ、ライフスタイル、省エネルギー性能などに対してもさまざまな配慮がなされた優れた住宅となっています。また、家づくりに携わるすべての人が協働し、工夫しながら完成された唯一無二の住宅でもあります。県民の皆様には、この作品集がこれからの住まいづくりの一助となれば幸いです。

ご応募いただいた皆様方のご努力に深く敬意を表しますとともに、ご多忙のなか審議にご尽力くださいました古川恵子委員長をはじめ審査委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

当協議会では、今後とも、人にも地球環境にもやさしい快適な木の住まいづくりの普及に取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

令和4年3月
鹿児島県木造住宅推進協議会
会長 西園 幸弘

鹿児島県木造住宅推進協議会とは

鹿児島県の木造住宅の振興を促進するため、関係行政機関などが結集して、従来の個人的な活動の範囲を超えて木造住宅の振興の諸活動を広範かつ長期的に実施していくことを目的として設立された協議会です。

協議会では、大工・工務店などの経営の近代化及び技術の向上、住宅建築の担い手の育成と定着・地位向上、在来木造住宅に対する県民の意識の向上などを通じて木材を中心とする地域住宅関連産業の活性化や地域に適した良質な木造住宅の建設推進等の活動をおこなっています。

鹿児島県木造住宅推進協議会会員

(公社) 鹿児島県建築士会
(一社) 鹿児島県建築協会
(一社) 鹿児島県建築士事務所協会
鹿児島県建築工友会
(一社) 鹿児島県林材協会連合会
鹿児島県木材協同組合連合会
鹿児島県森林組合連合会
鹿児島県プレカット協議会
かごしま地材地建グループ連絡協議会
(一社) 全国木造建設事業協会鹿児島県協会
鹿児島県町村会
鹿児島県
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター
(令和4年3月現在)

審査講評

かごしま木造住宅コンテスト 2021 審査委員会
委員長 古川恵子（鹿児島女子短期大学名誉教授）

「かごしま木造住宅コンテスト」は、鹿児島の自然や歴史、風土、文化に根ざした木造住宅の普及を目的に、平成13年（2001年）から隔年ごとに催され、今回は第11回となります。

「鹿児島県産材の良さが実感でき、省エネや長寿命化を図り、子どもや高齢者が安心して暮らせ、周囲の街並みなどの景観に配慮した住まい」を募集した結果、15点の応募がありました。

施主、設計者、施工者、大工（棟梁）の四者が一体となって、より良い住宅づくりを目指された住宅を7人の審査委員で審査しました。一次審査で、討議と投票によって7点を選び、二次審査では、現地で建物と周辺環境を確認して、施主・設計者の説明を聞き質疑応答の後、再度の討議の結果、「知事賞」「会長賞」「特別賞」「入選」を選定しました。

知事賞の「蒲生の家」（始良市）は、都市部から自然豊かな現在地に移り住み、地域の人とのつながりや、以前からあった梅の木や草花をだいにしたいという施主家族の望みを、特異なプランで具現化した住宅です。庭から濡れ縁、土間、居間へと続く空間は、土間の入り口幅と奥に続く居間の北側の開口幅が同じで、それに西側の2つの居室の大きな窓が加わったことにより、「いえ」と自然との一体感と開放感が強く感じられます。また、開閉できるハイサイドライトによる通風の良さと、建物の奥行きの深さに伴う、自然光による明るさの変化を楽しめる空間となっています。台所から続くストーブのある土間は、食事・団らん・地域の交流に活かされています。木製建具の塗料の慎重な色彩選び、今後、変化を見ながら木の外壁に手を入れていきたい等、施主の「いえ」への思い入れを設計者が理解し両者が納得してできた住宅です。

会長賞の「宮島の家」（始良市）は、木をふんだんに用いて明るく心地よい内部空間で、木造住宅の良さが伝わる住宅です。将来の間取りの変更を想定した中心部の6本の柱はプランの特徴の一つです。構造材を見せるデザインで、木材の使い方に力強さを感じるという多くの意見でした。玄関前の施主のこだわりの植栽はこれからが楽しみです。勝手口から直接脱衣室につながる動線計画は、遊びから帰った子どもに大いに活かされているということでしたが、階段と手すりにもうひと工夫ほしいという感想がありました。濡れ縁は夏休みの工作の場になったということで、今後多目的に利用されると思います。

特別賞の「屋久杉地杉に包まれた家」（湧水町）は、40歳代の工務店を営む施主が設計・施工した自邸で、屋久杉への熱い思いが表れた住宅です。台所、家事室と寝室間の動線計画、収納場所への配慮、緩やかな階段等、使いやすい設計計画です。優れた技術を持つ自社棟梁制作の、違い棚の手彫りの海老束に見られるように、大工の技術を重んじ、大工・左官の育成に努めていること、また、宮之城高等技術専門校との連携で、幅広く技術の継承にも努めていることなど、木材・木造に対する真摯な熱意ある取り組みに対して、また、今後への期待も込めて、特別賞としました。

入選の「方形屋根の家」（始良市）は、屋根が方形と切妻で構成され、深い軒の出が強い日差しの中で効果的に陰影を作っています。奥行き1.8mの「セカンドリビング」に面し、透光性のある建具を用いた大きな個室は2人用の子ども室で、将来仕切れる計画となっています。また、外観や外回りがスッキリしていて、若い方に好まれるデザインと思われそうですが、内部にもう少し木の良さを表してほしかったという意見がありました。

「カーボンニュートラル（ZEH）美山の家」（日置市）は、周辺環境に配慮した外観となっています。2階の書斎の、東から南へ連続する窓からの眺めは素晴らしく、親子で過ごすお気に入りの部屋ということが納得できます。自分の山の薪を使うストーブを中心にした南面する居室からは、広い庭が望めます。建築後2年近く経過し、木肌が落ち着いた色合いになっています。

「終の棲家でシンプルに生きる家」（鹿児島市）は、まちなかの狭い敷地という厳しい条件下でありながら、採光・通風にも工夫し、これまで住んでいた住宅の欄間を再利用するなど、施主の要望が反映されたシンプルな住宅です。片流れの屋根にして、北側にハイサイドライトを設け、高い天井には木が使われ、開放感の得られる落ち着いた内部空間となっています。

「植木畑をながめる高床の家」（出水市）は、冬暖かい住まいを、という施主の希望に応じたものです。高さ約1.3mの高床形式で、シェードを設置した奥行き約1.8mの南側のウッドデッキが特徴の、東西に長いプランです。南面する居室が多く、日照・採光に恵まれた住まいとなっています。薪ストーブがLDKに設けられ、その蓄熱と暖気の流れも工夫されています。床を高くした理由の説明がほしかったという意見がありました。

最後に、ご応募いただきました方々の木造住宅への取り組みに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。今後とも、かごしまの木造住宅の発展にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

設計 / アカツキ建築設計 株式会社

施工 / 久目工務店

棟梁 / 柳田 卓真

蒲生の家

知事賞

始良市



土間・居間の両サイドには大量の本を収納する本棚を配置
テレビやピアノ・仏壇などの生活用品も組み込み、空間にリズムを持たせています

地域に馴染む
やわらかな木の空間

移住の地として「地域にいかにか馴染むか」をコンセプトに建てられた「蒲生の家」。母屋中央部の土間や離れのアトリエが地域に馴染んでいくための大きなツールとなり得ればと考えられた住まいです。連続して配置された土間と居間は、南北に風の抜ける水平の吹き抜け空間。豊かな蒲生の自然を十分に取り込む、風土にも馴染む木の住まいです。



◀ 木の素朴な表情やぬくもりを日常生活を通して毎日感じる豊かな空間
これから長い年月をかけて地域との結び付きとともに木の風合いの変化も楽しめる住まいです

かごしま
木造住宅
コンテスト
2021

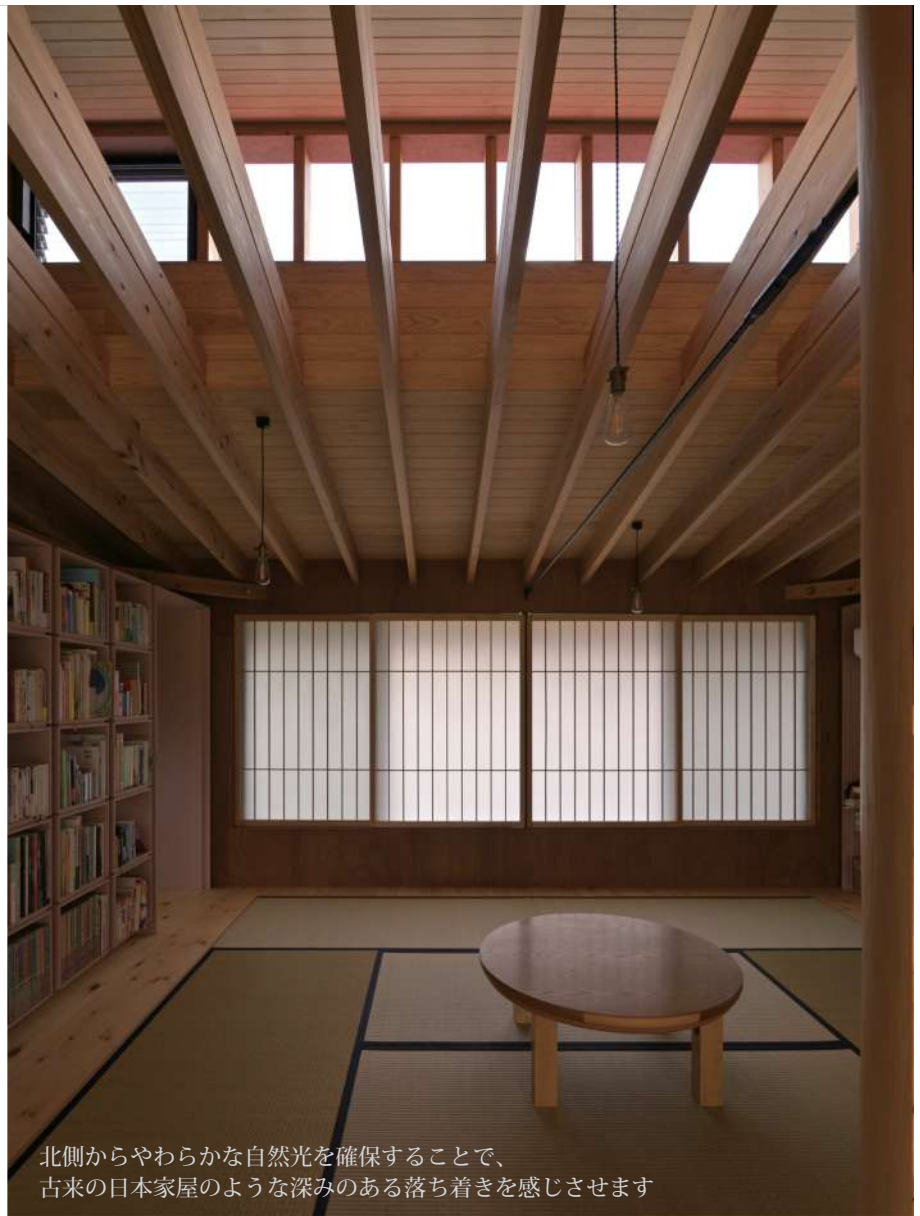


土間に隣接した台所からも
庭の梅の木を望めます

ゆるやかに仕切る

日本古来の障子で田の字型に仕切るといふ形態に、本箱で間仕切るといふ工夫を加えることで、ゆるやかに空間を仕切る、やわらかな空間構成が実現しています。

「モダンな視点で民家の良さを残す家」といふ施主の住まいへのイメージを、機能性と意匠性を兼ねた本棚間仕切りで具現化しています。



北側からやわらかな自然光を確保することで、
古来の日本家屋のような深みのある落ち着きを感じさせます



木と他素材が調和したアトリエ



アトリエからこぼれる
やわらかな光

欄間部分で全ての部屋がやわらかくつながり、
屋根を支える木材がリズムよく連続するため、空間に奥行を感じます





受賞のコメント

設計 / アカツキ建築設計株式会社
二俣 暁徳 さん

木の素朴な表情が好きです

デメリットとして捉えらがちな経年劣化も私にとっては魅力の一つです。外壁がシルバーに変色していく過程も、傷つきやすい床板も、風合いや柔らかな感触といったメリットとトレードオフと考えます。その他の材料も、素朴などこにでもあるような材料を私は好みます。杉の木も、合板も、タキロンも、私達の日常に溶け込んだ素朴な材料です。それらの材料に、何てことのない当たり前の手法を組み合わせて、あたらしい空間構成を生み出すことに魅力を感じます。

そういったモノゴトに対する考え方が建て主様と一致すると、テンションが上がります。蒲生の家も、それらの材料と日常的なアナログ技術を組み合わせて、形作られています。

- ◀ 子ども室の窓からも蒲生の季節の移ろいを存分に感じることができます
- ▼ 元々この土地にあった梅の木を望むように生活の中心となる土間・居間・台所を配置



DATA

敷地面積：538.92 m²
 建築面積：116.17 m²
 延床面積：104.33 m²

木材使用量：19.50 m³
 認証かごしま材使用量：10.50 m³

平屋建て
 2021年06月完成

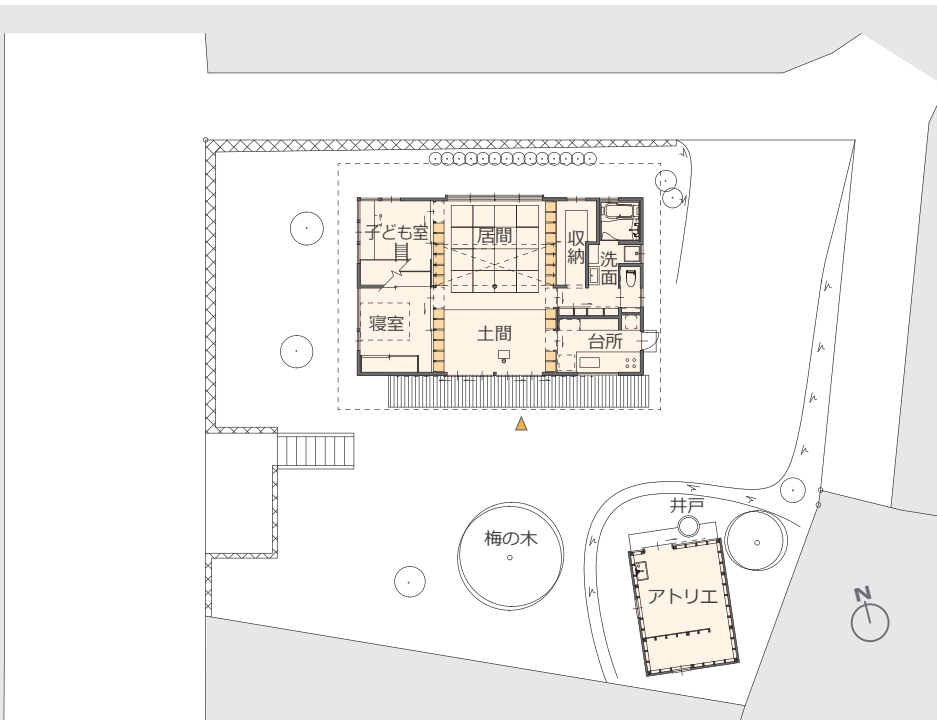
募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準	認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10m ³ 以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16m ² 以上	-
	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023m ³ /m ² を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-



▲ 連続した軒で建物の水平性が強調された、どっしりと安心感のある佇まいです

「季節に伴い景色が変わる自然豊かな地域に建てる家として、景観に馴染みながらも個性ある佇まいを」という施主の要望に応えた、木材を多用しながらも野暮ったさのない洗練された外観デザインです。



元々、建設地にあった梅の木を望む位置に土間・居間・台所を配置してあります
 この土地で育った他の樹木もそのまま生かして建てられた住まいです

1階平面配置図 S=1:300

設計 / ヤマサハウス株式会社
施工 / ヤマサハウス株式会社
棟梁 / 西 勇樹

宮島の家

会長賞

始良市



シンプルに木の持つ美しさやぬくもりを感じるインテリア

家族とともに、
成長し続ける住まい

高气密、高断熱の高性能住宅に加え、建物自体の工夫（パッシブデザイン）で鹿児島島の気候風土に配慮した「宮島の家」。数値で表せる高气密高断熱の「快適さ」に、人と家・家と自然の関係が豊かになる事で生まれる数値で表せない「快適さ」や「居心地の良さ」をプラスした、木をふんだんに用いた住まいです。



◀ 玄関横の和室は離れのような
落ち着きある趣深い空間

かごしま
木造住宅
コンテスト
2021

受賞のコメント

設計 / ヤマサハウス株式会社
西 竜哉 さん



家族の絆がつながる住まいを

「人と自然の調和」をコンセプトに鹿児島
の気候風土に合った良い家はどうかあ
ればいいのかをとことん考え、技術の
工夫改善を繰り返しながら、時代を
先取りする性能や環境への配慮と共
に、「家族が心も身体も健康に暮らす
ことができる住まい」、センターリ
ビングをはじめとした「絆の家」で、
家族の絆がつながる住まいをご提
案しております。

郷土が誇る企業として、鹿児島の製材所から始まった地元企業として地元文化のさらなる付加価値を発信していきます。

- ▶ キッチンを中心に配置したことで家族の気配を感じながら、機能的に家事をこなせる動線を確保しています
「キッチンが広がったことで主人もキッチンに立つことが増えてきました」と家族みんなで家事を楽しんでいるようです

▼ 安心感のある大きくて丈夫な大黒柱



09



木とシラス壁の調和で
やさしく居心地の良いインテリアに

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

DATA

木材使用量：20.00㎡
 認証かごしま材使用量：18.50㎡

敷地面積：373.00㎡
 建築面積：138.67㎡
 延床面積：129.18㎡

平屋建て
 2021年01月完成



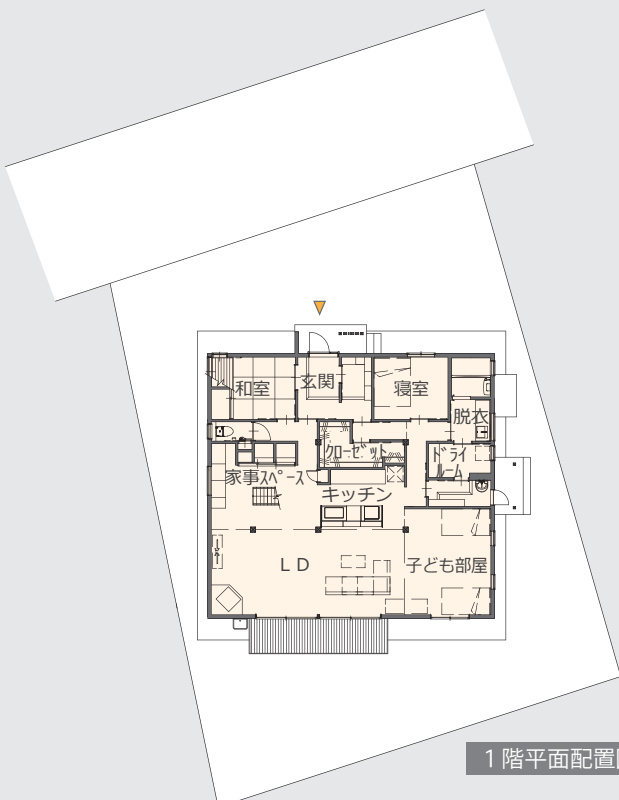
LDに隣接した子ども室は間仕切ることによって2室にできます



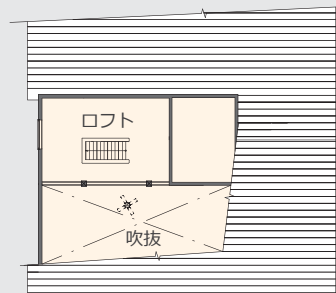
お子さんもお気に入りのロフト空間

未来へ長く住み継ぐ

家族とともに時を重ね、成長し続ける住まいとして、子ども室やロフト空間などを今後のライフスタイルに合わせて自由にアレンジできる「宮島の家」。その時々で住まいの完成形が変化する、敢えて未完のデザインとなっています。



1階平面配置図 S=1:300



ロフト平面図 S=1:300

「毎日通る玄関アプローチの植栽で季節を感じ、気持ちが良い」と施主もお気に入りの緑のトンネルを抜けると建物玄関へ。近隣の公園と視覚的に緑でつなぎ、豊かな街の景観を形成しています

入選 特別賞 (大工技能賞)

屋久島地杉に 包まれた家

設計 / 株式会社 異島住建
施工 / 株式会社 異島住建
棟梁 / 川辺 邦芳

湧水町

次世代に
住み継がれる
快適で丈夫な家



屋久島地杉を見せた真壁づくりのインテリア
珪藻土との調和で、自然な風合いのぬくもりある空間です

構造材に耐久性に富んだ屋久島地杉を使用した、長く安心して暮らせる「屋久島地杉に包まれた家」。セルロースファイバーによる断熱や全館空調など、快適に過ごせる機能も備えた、次世代にも住み継がれる耐久性と快適性の高い木の住まいです。構造材である屋久島地杉がインテリアの大きなアクセントとなり、ぬくもりと安心感を与えています。



▶ 2階吹抜けに隣接した
キッチンスペース
夏は地域の花火大会を
眺めることもできます

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

DATA

敷地面積：1,343.47㎡
 建築面積：147.23㎡
 延床面積：177.33㎡

木材使用量：58.18㎡
 認証かごしま材使用量：52.02㎡

2階建て
 2020年08月完成



▲ 趣味の音楽室にも木をふんだんに使用防音仕様で気兼ねなく演奏ができます



▲ 毎日の洗濯作業を楽にするため機能性を高めたユーティリティスペース



▲ キッチン付近のスタディスペースいつでも子どもの勉強を見守れます

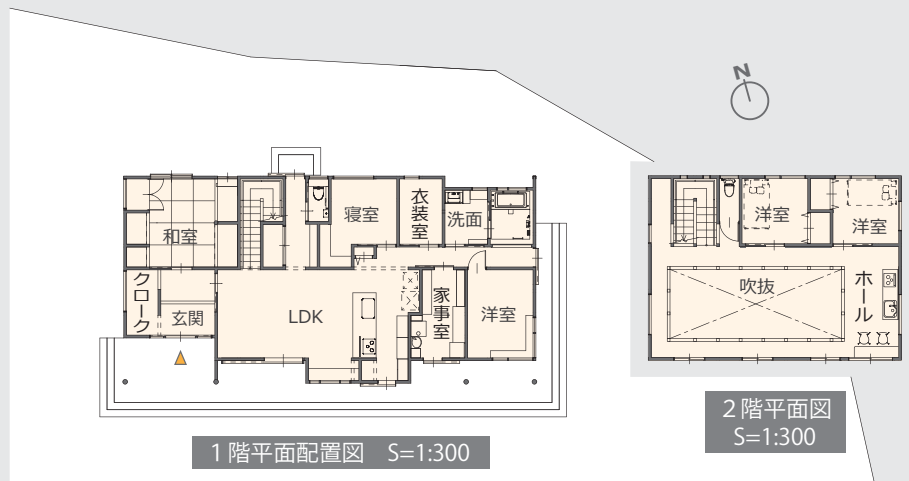
家事動線を重視し、少しでも家事が楽になるような間取りとなっています。特に「洗濯」「干す」「取り込む」「たたむ」「収納」と複数の作業を毎日やらなくてはならない洗濯作業が楽になるよう設けられた、機能性の高いユーティリティスペース（家事室）が印象的です。さらに料理などの家事作業の合間でも少しでも子供とコミュニケーションがとれるように、リビングにスタディスペースが設けてあります。1階洋室は家族の趣味であるギターが心おきなく弾けるよう防音対策を施されており、家族みんなが楽しく過ごせる魅力が随所に詰まった住まいです。



▲ 棟梁の粋が随所に感じられる和室。伝統的な雰囲気はどこか懐かしく、心を落ち着かせてくれます



木材の良さを程よく引き出す数寄屋風の外観デザイン
 外部でも木が呼吸できる工夫を行っています



入選

方形屋根の家

設計 / 株式会社 東条設計

施工 / 曾山建設株式会社

棟梁 / 江口 学

始良市

毎日を豊かに育む、
のびやかなすまい



建物高さを抑え、水平性が強調されたのびやかな外観デザイン

環境の良い南東側の庭を建物によってL字型に囲み、庭に面したのびのびとした空間の中で家族がその時々距離感で心地よく生活できるよう設計された「方形屋根の家」。明確に機能を分ける現代的な間取りと、部屋に連続性のある伝統的な間取りの折衷案のような、柔軟に生活の場を使い分けることができる「のびやかなすまい」です。



▲リビングからセカンドリビングを望む
共用ゾーンと個別ゾーンをゆるやかに分け、
施主のイメージであった「心地よく暮らせる
お家」を具現化しています

◀方形屋根の存在感を内部からも感じるこ
とのできるリビングダイニング

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準	
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上
		(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上

DATA

敷地面積：466.49㎡
 建築面積：175.74㎡
 延床面積：144.71㎡

木材使用量：23.82㎡
 認証かごしま材使用量：23.34㎡

平屋建て
 2020年04月完成



▲ すべての部屋でふんだんに自然の光と風を取り込み、明るく爽やかな心地よい空間となっています



▲ 外から内へ、長いアプローチで気分を切り替え、あたたかく迎え入れる玄関

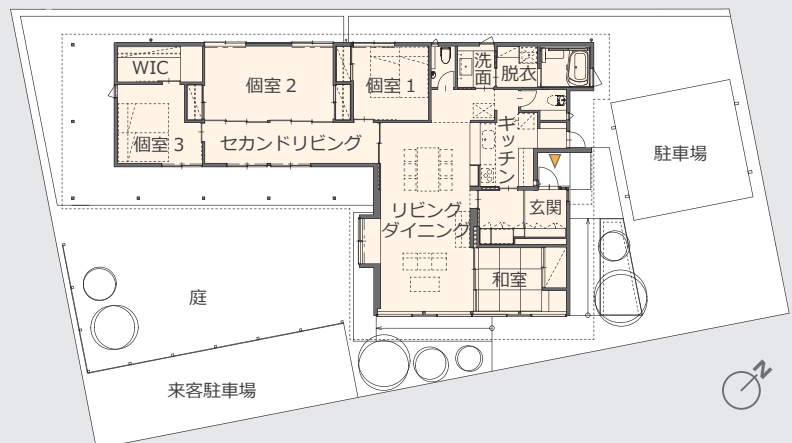
「細部までこだわりのある、私たち家族の理想のお家」と施主が語るように、庭と建物の関係や個室ゾーンと共用ゾーンの絶妙な配置など、日々のびやかに暮らせる工夫が詰まっています。建物内外にわたって柔らかい表情となるよう心掛けられており、生活の中の何気ない行為や気分を受け入れられるような「心地よい居場所」を感じさせる佇まいです。



▲ 効果的な窓の配置でプライバシーを守りながら明るく快適なくつろぎの場を創出しています



大きな軒の出が屋根に浮遊感を与えています



1階平面配置図 S=1:300

自然と景観、
環境に配慮した住まい



自分の山の木を薪として利用する薪ストーブで家全体が優しい暖かさに、無垢のフローリングも相まって、冬でも裸足で生活できます

先祖から守り継がれる田畑や山を維持するため、また、その豊かな自然の中で子育てを楽しむためにご実家の隣接地に建てられた「美山の家」。落ち着いた外観デザインで美山の美しい景観に馴染むよう配慮されています。自分の山の木も使用した木目の美しい室内からは美山の街並みを見渡せ、日々リラックスできる木の空間となっています。



- ▶ 日当たりや風通しだけでなく何よりも眺めが良い書斎は家族みんなのお気に入り空間
 子どもと絵本を読んだり、おしゃべりをしたり、家族のコミュニケーションを育む素敵な小部屋です

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準		
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	○	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	-
	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

DATA

敷地面積：320.29㎡
 建築面積：106.29㎡
 延床面積：110.14㎡

木材使用量：25.00㎡
 認証かごしま材使用量：23.80㎡

2階建て
 2019年12月完成



▲ 2階の小屋裏には大容量の書庫を確保
隣接する書斎と連続した家族お気に入りの空間です

▲ 桜島をデザインした飾り障子がアクセントに
無垢板をふんだんに使用した心落ち着く和室

LDKは家族全員が集まる団らんの場。梁や柱を見せる真壁の空間は、腰壁や建具、造作棚をはじめ、無垢の床、板張りの天井など、木肌を存分に感じることができる、温かみのある空間となっています。LDKには和室が隣接され、広がりのある木の空間には自然光と自然風がふんだんに取り込めます。「以前の住まいと比較して光熱費も安い」と施主が喜ぶ木の住まい。断熱性能を高めることで住宅全体からの熱損失を抑え、ソーラーパネルで省エネ効果を高めた環境と家計にやさしい住まいです。



▲ リビングを見渡せるキッチン
洗面所・浴室と連続させ、家事動線は一直線に配置



外観デザインを際立たせる深い軒には夏場の日射取得率を抑える機能があります
2階の窓からは美山の街並みが眺められます



1階平面配置図 S=1:300

2階平面図 S=1:300

やさしくのびやかなシンプル住まい



間接照明が勾配天井の木質感をよりやわらかく演出しています

「小さくてシンプルな家でいい」という施主の要望に、一体感のある間取りと木質感のあるあたたかな空間づくりで応えています。要所に手摺を設けたり、玄関アプローチにスロープを併設するなど、老いても住みやすい工夫が施されており、木質感を重視したインテリアで心安らぐやさしい住空間が実現しています。



▶ リビングの天井に勾配を持たせることでよりのびやかな空間に板張りの天井がリビング空間をよりぬくもりある雰囲気演出しています

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準			
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	-	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	-	(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	○
	-	柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	-	(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	-

DATA

敷地面積：134.76㎡
 建築面積：67.31㎡
 延床面積：72.84㎡

木材使用量：17.84㎡
 認証かごしま材使用量：1.86㎡

2階建て
 2021年03月完成



▲ 明るく清潔感のある玄関
 手摺を設けてバリアフリーに配慮

▲ 既存住宅の欄間を飾り棚に再利用
 昔の家の思い出として家族に喜ばれています

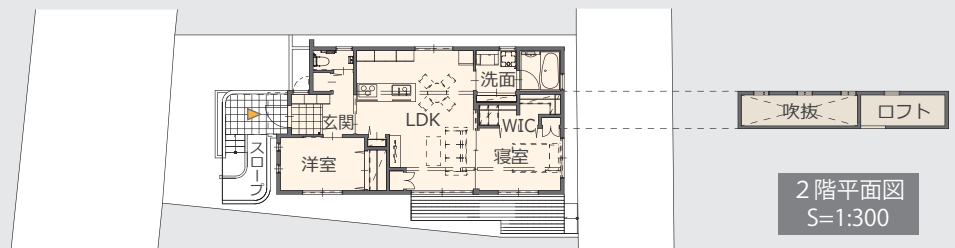
シンプルでコンパクトな住まいでありながら、リビングと寝室を一体空間とすることでより広がりのある住環境が生まれています。片流れの屋根に沿った勾配天井の頂部には風抜き窓が設置されており、「夏場でも涼しい風が通る」と施主にも好評です。飾り棚に再利用した欄間で昔の思い出に浸りつつ、木のぬくもりに包まれながら快適に過ごす住みよい家です。



▲ リビングと寝室を一体化し空間の広がり確保
 収納スペースとしてロフト空間も確保しています



建物形状とシックな色味でコンパクトにまとめた外観
 玄関の明るい黄色がアクセントになっています

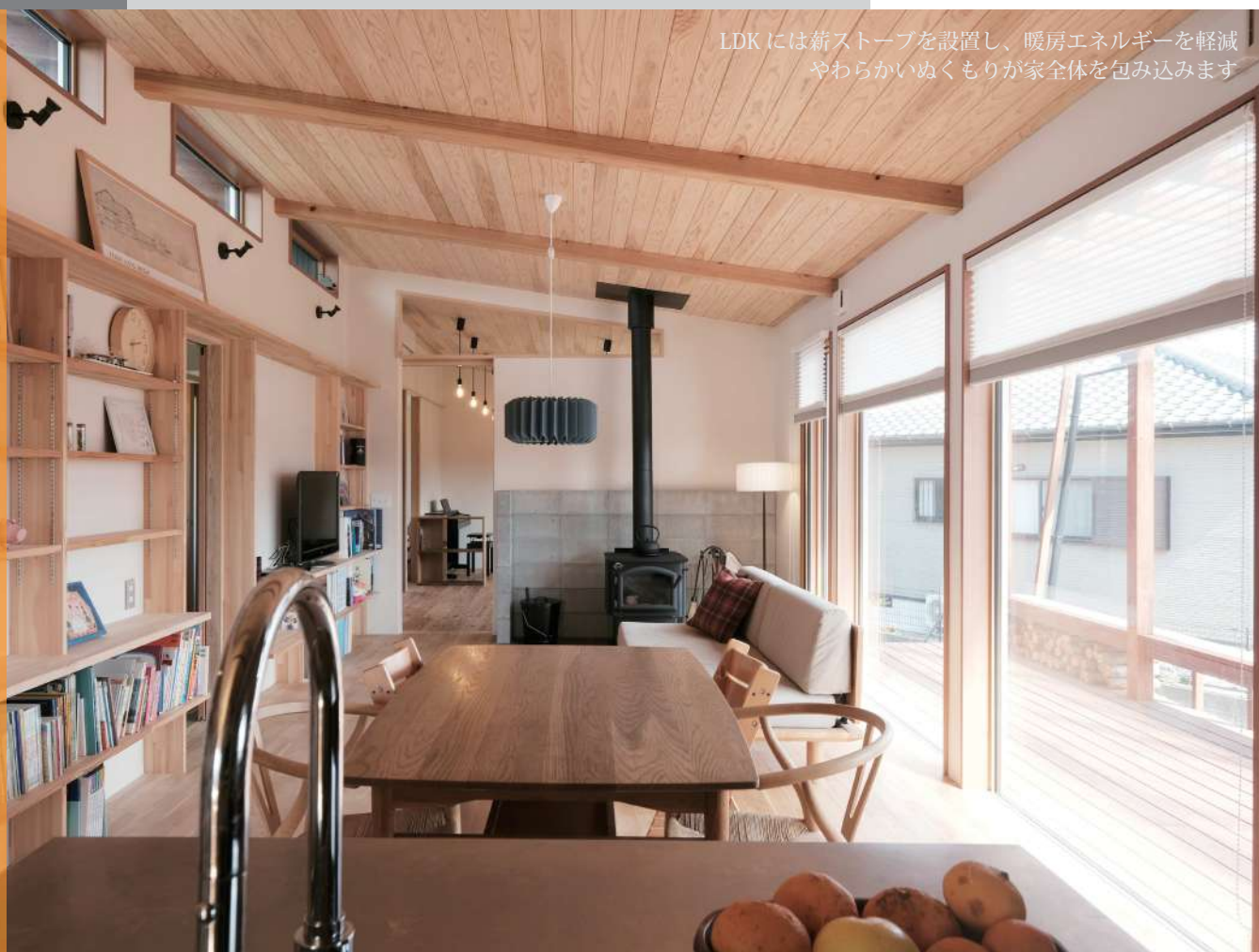


1階平面配置図 S=1:300

2階平面図 S=1:300



日々の暮らしが豊かになる住まい



LDKには薪ストーブを設置し、暖房エネルギーを軽減
やわらかいぬくもりが家全体を包み込みます

本住宅は高床で周辺の豊かな自然景観を取り込みながら、室内環境に十分に配慮し、家族の日々の暮らしが豊かになる工夫や機能を備えています。建物自体の断熱性能を十分に確保した上で、薪ストーブや採光の工夫で光熱費を抑え、外付けルーバーやスクリーンで住み手が自由に自然光をコントロールできる、自然と寄り添う住まいです。



- ▶ LDKは勾配天井でのびやかな空間に
勾配天井の頂部には高窓を設けて二面採光を確保
木のぬくもりあふれる明るい住空間です

募集条件への適合状況

かごしま木の家の基準		認証かごしま材の家の基準	
「かごしま材の使用量が10㎡以上」かつ「かごしま材の使用量の割合が全体の50%以上かつ構造材の50%以上」	○	(1) 柱・半柱・間柱が、当該部材の体積比で80%以上	○
	○	(2) 柱・梁・桁などの構造材が、住宅の延べ面積に0.023㎡/㎡を乗じて得た数値以上	○
		(3) 造作材、下地材及びフローリングの合計面積が16㎡以上	○
		(4) 上記(1)(2)のいずれかにおける認証かごしま材の実使用比と(3)における同材の実使用比の数値の合計が1以上	○

DATA

敷地面積：728.89㎡
 建築面積：112.62㎡
 延床面積：92.74㎡

木材使用量：15.96㎡
 認証かごしま材使用量：14.53㎡

平屋建て
 2019年08月完成



▲ 木目が美しいキッチン
 リビングと一体でとても開放的



▲ 窓外の自然と内部の木目が
 やさしく調和した玄関



▲ 自然光と周囲の豊かな風景を存分に取り込んだ
 落ち着きある和室



LDKと連続したファミリースペース
 家族4人の普段暮らしで多様に活用されます



周囲の自然に馴染む木を活かした外観デザイン
 敷地形状によらず建物を南面させることで、より自然の恩恵を生かせる住まいとなっています

「家族4人の普段の暮らしを最優先した家づくりを」という施主の要望に応え、部屋の間仕切りを無くし、家全体がひとつの部屋のような住まいとなっています。新築前の住宅の温度変化を測定し、特に冬場の暖房効果を最大限に生かす工夫に加え、採光・通風などの建物自体による工夫（パッシブデザイン）や、設計時のシミュレーションを行うことで、理想に叶う快適な住まいとなりました。快適な住環境の中で、家族の気配をいつでも感じ、豊かな自然を楽しめる、心あたたまる木の住まいです。



1階平面配置図 S=1:300

かごしま
木造住宅
コンテスト
2021

鹿児島県木造住宅推進協議会

事務局 / 鹿児島市新屋敷町 16 番 228 号
(公財) 鹿児島県住宅・建築総合センター内
TEL : 099-224-4543

知事賞



設計 / アカツキ建築設計 株式会社
施工 / 久目工務店
棟梁 / 柳田 卓真

蒲生の家 (始良市)

会長賞



設計 / ヤマサハウス株式会社
施工 / ヤマサハウス株式会社
棟梁 / 西 勇樹

宮島の家 (始良市)

入選
特別賞 (大工技能賞)



設計 / 株式会社 異島住建
施工 / 株式会社 異島住建
棟梁 / 川辺 邦芳

屋久島地杉に包まれた家 (湧水町)

入選



設計 / 株式会社 東条設計
施工 / 曾山建設株式会社
棟梁 / 江口 学

方形屋根の家 (始良市)

入選



設計 / 株式会社 建築工房匠
施工 / 株式会社 建築工房匠
棟梁 / 雪丸 明好

カーボンニュートラル (ZEH) 美山の家 (日置市)

入選



設計 / 株式会社 志賀設計室
施工 / 株式会社 秀成
棟梁 / 鮫島 友弘

終の棲家でシンプルに生きる家 (鹿児島市)

入選



設計 / 丸久建設 株式会社
施工 / 丸久建設 株式会社
棟梁 / 宮野 次男

植木畑をながめる高床の家 (出水市)

ベジイंक・R100 マーク